

## 010709その他の印刷・製本業における死亡災害事例（1999-2022年）

| 年    | 月 | 発<br>生<br>時   | 死亡災害事例  | 起因物<br>(小) | 事<br>故<br>の<br>型 | 労<br>働<br>者<br>規<br>模 |
|------|---|---------------|---|------------|------------------|-----------------------|
| 2021 | 6 | 10<br>～<br>12 | 被災者は事業場内において、輪転機にロール紙を補充する作業を行っていたところ、不意にペースタームが降下し、ガイドローラーとの間に挟まれ、頸部から胸部を挟圧されたことによって、窒息し死亡したものの。                                   | 166        | 7                | 30<br>～<br>49         |
| 2020 | 5 | 14<br>～<br>16 | チラシを積み込んだかご車に、荷崩れ防止用のバンドを2本掛け、バンドに足を掛けてバンドを締める作業を2名で行っていたところ、かご車が後方に倒れ、被災者はかご車とともに転倒し、床に頭を強打した。被災者は病院に収容されたが、2日後に脳内出血のため死亡した。       | 417        | 2                | 300<br>～<br>499       |
| 2020 | 9 | 14<br>～<br>16 | 自社工場の屋根補修のため、同僚1名とスレート屋根に上り作業を行っていたところ、被災者の足元のスレートが割れ、被災者はバランスを崩し、明り取りの箇所から墜落。屋根下に天井板（ベニヤ板）が設けられていたものの、同天井板を突き破り、地上まで墜落。墜落高さは4.28m。 | 415        | 1                | 1～<br>9               |
| 2011 | 8 | 9<br>～<br>10  | 被災者は、自ら軽トラックを運転し市内へ納品するため、高速道路を走行した。高速道路を走行中に後輪がパンクし、中央分離帯に接触した反動で軽トラックが横転し、出血性ショックにより死亡したものの。                                      | 221        | 17               | 1～<br>9               |
| 2009 | 4 | 13<br>～<br>14 | 被災者が営業のためにバイクで移動中、青信号の交差点を右折しようとしたところ、被災者の右側から赤信号で交差点に進入してきた軽トラックに激突された。  | 231        | 17               | 30<br>～<br>49         |
| 2001 | 7 | 11<br>～       | 中2階の倉庫兼作業場で封筒にラベルを貼る機械を使って作業を行っていた、作業が終了したので空段ボール箱を片づけていたときに作業床の端(高   | 416        | 1                | 10<br>～               |

|      |   |             |  |     |    |               |
|------|---|-------------|--|-----|----|---------------|
|      |   | 12          | さ2. 87m)から1階に墜落した。                                       |     |    | 29            |
| 2000 | 7 | 5<br>～<br>6 | 菓子等のパッケージを印刷する工場の調色室において、印刷に使用する有機溶剤系の塗料の調合中に火災が発生し焼死した。 | 512 | 16 | 50<br>～<br>99 |

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pg/SIB\\_FND.html](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/SIB_FND.html)(職場のあんぜんサイト)

[https://www.jisha.or.jp/international/topics/202311\\_01.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202311_01.html)に戻る。